

# 実施計画書

(令和5年度～7年度)

【変更分】

令和5年3月

糸島市

# 《 目 次 》

## I 実施計画 事業計画書（変更分）

基本目標1 未来社会で輝く子どもを育むまちづくり・・・・・・・・・・P 3

基本目標6 快適で住みよいまちづくり・・・・・・・・・・P13

## II 実施計画 事業一覧表（変更分）・・・・・・・・・・P26

# I

## 実施計画 事業計画書（変更分）

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト		施策コード
1	未来社会で輝く子どもを育むまちづくり			111
政策		その他の特色		コストの方向性
1	子育て・親育ちの支援の充実	市長公約	総合戦略	コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画
1	安心して生み育てられる環境の充実	ソフト	新規	

【事業の内容】

事業名	こどもの安心・安全対策支援事業			担当部課	子ども教育部	子ども課
事業目的	子どもの安心・安全を確保し、安心して生み育てられる環境の充実を図る。			事業主体	保育所等	
事業内容	送迎バスを有する保育施設に対し、送迎バスへの園児の置き去り防止のためのプザー設置等に必要経費の一部を補助する。			実施方法	補助	
事業期間	令和5年度			進捗状況・現状	全国で、送迎バスへの園児の置き去り事案が発生している。	
事業費用	1,400	千円	(うち市予算化分) 1,400	千円	会計種類	一般会計
予算科目	変更前の実施計画に計上した総事業費			3	2	2

【担当課による評価】

◆活動指標

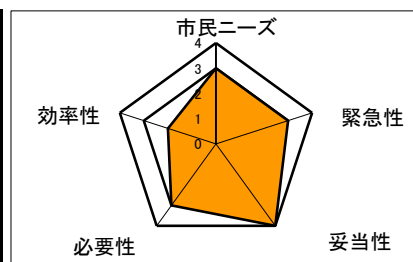
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
保育施設において、安全装置を導入したバスの台数	0台	8台	8台

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
保育などのサービスが充実していると思う市民の割合 (市民満足度調査)	26.5%	33.8%	40.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	③必要な事業であり、ぜひ実施したい。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性 (費用対効果)	②費用に見合う効果は期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	③やや高い



【事業費】

こどもの安心・安全対策支援事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

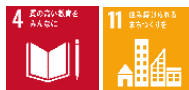
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	1,400			1,400	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源 (a)					
事業費 (A)		1,400			1,400	
主な事業費内訳		補助金				
従事職員数(人)		0.01			平均人件費	8,700
人件費 (B)		87			人件費割合 (%)	5.9
総コスト (A+B)		1,487			総コスト計	1,487
実質地方負担	交付税措置額				-	
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	保育環境改善等事業	保育環境改善等事業(安全対策事業)			100%	
県支出金						
地方債						
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	送迎バス安全装置導入支援 バス8台(6施設)×@175千円=1,400千円	1,400 千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	全国で、送迎バスへの園児の置き去り事案が発生しており、こどもの安心・安全の確保が急務となっている。これを受け、送迎バスへの安全装置について、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改正により、令和5年4月1日から、装置の設置が義務付けられた(経過措置:令和6年3月31日まで)。
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
1	未来社会で輝く子どもを育むまちづくり				124
政策		その他の特色			コストの方向性
2	保育・学校教育の充実	市長公約			コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
4	安全・安心に学習できる教育環境の整備	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	雷山小学校屋内運動場大規模改造事業				担当部課	子ども教育部	教育総務課	
事業目的	小学校教育環境整備として老朽化した屋内運動場の大規模改造工事により、事故を防止し、児童・教職員・利用者の安全を確保し、良好な学びの環境を提供するとともに、災害時における指定避難所としての防災機能の強化を図る。				事業主体	糸島市		
					実施方法	一部委託		
事業内容	●既存屋内運動場大規模改造 棟番号15 805㎡(S57.2) 【スケジュール】 R4～5 屋内運動場大規模改造工事実施設計監理業務 R5 屋内運動場大規模改造工事				進捗状況・現状	R4 屋内運動場大規模改造工事実施設計監理業務委託契約		
事業期間	令和4年度～令和5年度				会計種類	一般会計		
総事業費	195,375	千円	(うち市予算化分) 195,375	千円	予算科目	款	項	目
変更前の実施計画に計上した総事業費	195,375	千円	195,375	千円		10	2	3

【担当課による評価】

◆活動指標

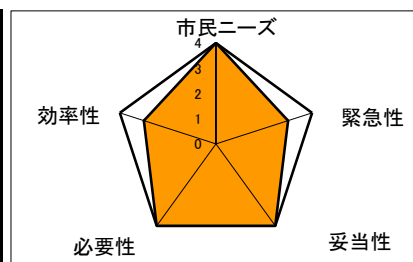
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
工事(校)	0校	1校	1校

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
大規模改造実施(着手を含む)校	2校	9校	9校
トイレの洋式化率	48.4%	64.8%	64.8%
安心して子供を生み育てられる環境が整っていると思う市民の割合(市民満足度調査)【再掲】	41.0%	43.0%	45.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

雷山小学校屋内運動場大規模改造事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

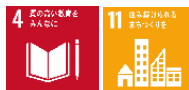
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【2,682】			【2,682】	
	県支出金					
	地方債	【5,300】 137,100			【5,300】 137,100	
	その他	【66】 45,775			【66】 45,775	
	一般財源 (a)					
事業費 (A)		【8,048】 182,875			【8,048】 182,875	
主な事業費内訳		設計監理業務委託費 工事費				
従事職員数(人)		1			平均人件費	8,700
人件費 (B)		8,700			人件費割合 (%)	4.5
総コスト (A+B)		191,575			総コスト計	191,575
実質地方負担	交付税措置額	68,550			-	
	一般財源充当額 (b)	68,550			68,550	
	(a+b)	68,550			68,550	
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	【学校施設環境改善交付金(補助)】	【学校施設環境改善交付金(大規模改造)】			【1/3】	
県支出金						
地方債	学校教育施設等整備事業債(単独) 【学校教育施設等整備事業債(補助)】 【防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債】	地方債同意等基準運用要綱 【地方債同意等基準運用要綱】 【地方債同意等基準運用要綱】	(充当率75%) 【充当率75%】 【充当率100%】		50% 【30%】 【50%】	
その他	【ふるさと応援基金繰入金】 ふるさと応援基金繰入金	【糸島市ふるさと応援寄附条例】 糸島市ふるさと応援寄附条例				

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	実施設計監理業務委託 1,666,000*1.1=1,832,600 屋内運動場大規模改造工事 181,042,000  【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】 屋内運動場大規模改造工事 8,048,000(繰越明許費R4→R5)	182,875 千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	施設の安全確保は設置者に課せられた責務であり、事業実施の必要があると判断する。小学校教育環境整備として老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、生徒・教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する必要がある。また、施設の長寿命化対策として要求するもの。トイレ洋式化も実施する。
-----------------	--

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
1	未来社会で輝く子どもを育むまちづくり				124
政策		その他の特色			コストの方向性
2	保育・学校教育の充実	市長公約			コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
4	安全・安心に学習できる教育環境の整備	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	小中学校トイレ改修事業				担当部課	子ども教育部	教育総務課	
事業目的	老朽化した和式トイレを洋式トイレへ改修を行うことで、学校教育環境の充実、衛生環境の改善を図り、良好な学びの環境を提供する。				事業主体	糸島市		
					実施方法	一部委託		
事業内容	<b>【事業内容】</b> ・対象校 9校 ・大規模改修事業と合わせて、小中学校のトイレの洋式化を実施する。 ・R1年度末 48.4% ・R7年度末 87.8% (+39.4%) <b>【スケジュール】</b> (洋式化率は長期総合計画値) R5 福吉中 64.8% R6 姫島小、南風小、一貴山小、二丈中 78.5% R7 福吉小、志摩中、引津小、可也小 87.8%				進捗状況・現状	<b>【本事業完了済】</b> R2 前原中、雷山小 57.7%、R3 長糸小、桜野小 60.1%、R3 繰西中一部(コロナ感染症対策)、R4 加布里小 66.7% <b>【大規模改修工事で実施予定】</b> R1-R3前小、R3~5南小(増築棟)、R4~5波多江小(体育館)、R4~5雷山小(体育館)、R5~7深江小、R5~8東中(管理棟)、R8~11西中、R7~11怡土小 <b>【実施済】</b> 東風小、前原東一部(普通教室)、波多江小、前原南小		
事業期間	令和元年度～令和7年度				会計種類	一般会計		
総事業費	1,013,184	千円	(うち市予算化分) 1,013,184	千円	予算科目	款	項	目
変更前の実施計画に計上した総事業費	1,013,184	千円	1,013,184	千円		10	2	3

【担当課による評価】

◆活動指標

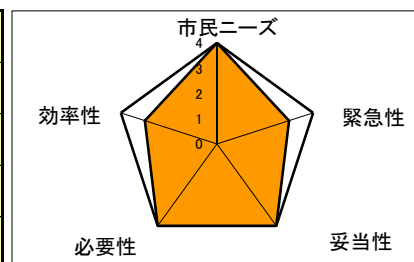
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
工事設計・発注(校)	3校	1校	14校

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
大規模改修実施(着手を含む)校	2校	9校	9校
トイレの洋式化率	48.4%	64.8%	64.8%
安心して子供を生み育てられる環境が整っていると思う市民の割合(市民満足度調査)【再掲】	41.0%	43.0%	45.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い





【事業費】

小中学校トイレ改修事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

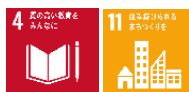
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【17,774】			【17,774】	
			67,669	77,451		145,120
	県支出金					
	地方債	【35,000】			【35,000】	
	その他	【1,650】			【1,650】	
	一般財源 (a)	15,748			15,748	
			77,847	78,877		156,724
事業費 (A)		【54,424】			【54,424】	
		15,748	268,416	327,228		611,392
主な事業費内訳		設計監理業務委託費 工事費	設計監理業務委託費 工事費	設計監理業務委託費 工事費		
従事職員数(人)		0.6	1.2	0.8	平均人件費	8,700
人件費 (B)		5,220	10,440	6,960	人件費割合 (%)	3.6
総コスト (A+B)		20,968	278,856	334,188	総コスト計	634,012
実質地方負担	交付税措置額		36,870	51,270		-
	一般財源充当額 (b)		86,030	119,630		205,660
	(a+b)		163,877	198,507		362,384
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	【学校施設環境改善交付金(補助)】	【学校施設環境改善交付金(大規模改造)】			【1/3】	
県支出金						
地方債	【学校教育施設等整備事業債(単独)】 【学校教育施設等整備事業債(補助)】 【防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債】	【地方債同意等基準運用要綱】 【地方債同意等基準運用要綱】 【地方債同意等基準運用要綱】		【(充当率75%)】 【(充当率90%)】 【(充当率100%)】	【50%】 【30%】 【50%】	
その他	【ふるさと応援基金繰入金】 ふるさと応援基金繰入金	【糸島市ふるさと応援寄附条例】 糸島市ふるさと応援寄附条例				

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	姫島小【設計】 2,284,700 南風小【設計】 5,409,800 【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】 福吉中【工事】 329,200/1.08*1.10*157㎡=52,641,519 (繰越明許費R4→R5) 福吉中【監理】 1,782,000(繰越明許費R4→R5)	二丈中【設計】5,425,200 一貴山小【設計】2,626,800 15,748 千円
令和6年度	姫島小【工事】 329,200/1.08*1.10*86㎡=28,835,481 姫島小【監理】 1,320,000 南風小【工事】 329,200/1.08*1.10*263㎡=88,182,926 南風小【監理】 2,942,500 一貴山小【工事】 329,200/1.08*1.10*103㎡=34,535,519 一貴山小【監理】 1,497,100	二丈中【工事】 329,200/1.08*1.10*264㎡=88,518,222 二丈中【監理】 2,954,600 福吉小【設計】 3,928,100 志摩中【設計】 6,109,400 引津小【設計】 2,684,000 可也小【設計】 6,908,000 268,416 千円
令和7年度	福吉小【工事】 329,200/1.08*1.10*173㎡=58,006,259 福吉小【監理】 2,182,400 志摩中【工事】 329,200/1.08*1.10*359㎡=120,371,370 志摩中【監理】 3,296,700	引津小【工事】 329,200/1.08*1.10*106㎡=35,541,407 引津小【監理】 1,531,200 可也小【工事】 329,200/1.08*1.10*306㎡=102,600,667 可也小【監理】 3,697,100 327,228 千円

担当部長による 総合評価	家庭のトイレの環境が変わり、洋式便器しか使用できない児童生徒が増えたため、児童・教職員への衛生環境への確保できない。老朽化した和式トイレを様式トイレへ改修を行うことで、学校教育環境の充実、衛生環境の改善を図り、良好な学びの環境を提供する必要がある。国の整備目標も令和7年までに95%に設定されており、市長公約実現化プランにも計上しているため、第1期アクションプラン実施予定の小中学校トイレ改修事業を前倒し要求するもの。
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
1	未来社会で輝く子どもを育むまちづくり				124
政策		その他の特色			コストの方向性
2	保育・学校教育の充実	市長公約			コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
4	安全・安心に学習できる教育環境の整備	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	波多江小学校校舎大規模改修事業				担当部課	子ども教育部	教育総務課	
事業目的	小学校教育環境整備として、老朽化した校舎の大規模改修工事により、事故を防止し、児童・教職員の安全を確保、良好な学びの環境を提供する。				事業主体	糸島市		
					実施方法	一部委託		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存校舎大規模改修 棟番号17-2 1,094㎡(8教室)(S53.3)、棟番号17-3 1,456㎡(12教室)(S55.2)、棟番号22 753㎡(8教室)(S60.2) 【スケジュール】R1 校舎大規模改修工事実施設計業務、R2～4 校舎大規模改修工事、監理業務、仮設校舎建設、仮設校舎リース</li> <li>●屋内運動場予防改修 棟番号25-1,25-2 1,249㎡(H2.3) 【スケジュール】R4 屋内運動場屋根他実施設計業務、R5 屋内運動場屋根工事他、監理</li> </ul>				進捗状況・現状	R1年度 実施設計業務 R2年度 仮設校舎建設 R2年度 大規模工事(建築) ・ 大規模工事(電気1) ・ 大規模工事(機械) R3年度 大規模工事(電気2) R4年度 大規模工事(電気3)		
事業期間	令和元年度～令和5年度				会計種類	一般会計		
総事業費	752,999	千円	(うち市予算化分) 752,999	千円	予算科目	款	項	目
変更前の実施計画に計上した総事業費	752,999	千円	752,999	千円		10	2	3

【担当課による評価】

◆活動指標

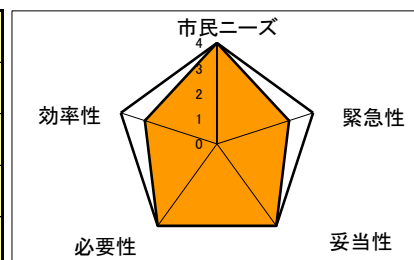
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
工事(校)	0校	1校	1校

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
大規模改修実施(着手を含む)校	2校	9校	9校
トイレの洋式化率	48.4%	64.8%	64.8%
安心して子供を生み育てられる環境が整っていると思う市民の割合(市民満足度調査)【再掲】	41.0%	43.0%	45.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

波多江小学校校舎大規模改造事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【32,246】			【32,246】	
	県支出金					
	地方債	【63,800】			【63,800】	
	その他	【2,861】			【2,861】	
	一般財源 (a)					
事業費 (A)		【98,907】			【98,907】	
主な事業費内訳		監理業務委託費 工事費				
従事職員数(人)		0.8			平均人件費	8,700
人件費 (B)		6,960			人件費割合 (%)	100.0
総コスト (A+B)		6,960			総コスト計	6,960

実 地 方 債 担	交付税措置額				-	
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					

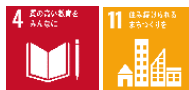
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等		補助率等 (地方債は交付税措置率)
国庫支出金	【学校施設環境改善交付金(補助)】	【学校施設環境改善交付金(長寿命化改良(予防改修))】		【1/3】
県支出金				
地方債	【学校教育施設等整備事業債(単独)】 【学校教育施設等整備事業債(補助)】 【学校教育施設等整備事業債(補助)補正予算債】	【地方債同意等基準運用要綱】 【地方債同意等基準運用要綱】 【地方債同意等基準運用要綱】	(【充当率75%】) (【充当率90%】) (【充当率100%】)	【50%】 【70・50%】 【50%】
その他	【ふるさと応援基金繰入金】	【糸島市ふるさと応援寄附条例】		

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】 屋内運動場設計監理業務2,841,000*1.1=3,125,100(繰越明許費R4→R5) 屋内運動場工事 @256,000*29.6%*1,264㎡=95,780,864(繰越明許費R4→R5)	千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	施設の安全確保は設置者に課せられた責務であり、事業実施の必要があると判断する。小学校教育環境整備として老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、生徒・教職員の安全を確保し、良好な学びの環境を提供する必要がある。令和3年度屋根の腐食により、軒裏の一部が崩落したため、大規模改造事業の一部を前倒し要求するもの。
-----------------	--

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
1	未来社会で輝く子どもを育むまちづくり				124
政策		その他の特色			コストの方向性
2	保育・学校教育の充実				コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
4	安全・安心に学習できる教育環境の整備	ハード	継続		

【事業の内容】

事業名	小学校校舎外壁改修事業				担当部課	子ども教育部	教育総務課	
事業目的	小学校教育環境整備(既存校舎の外壁改修)、教育施設の防災機能強化、建物の非構造部材(建物外壁)の耐震化				事業主体	糸島市		
					実施方法	一部委託		
事業内容	【可也小】 建物外壁のモルタル等落下防止のための外壁改修工事 R4可也小実施設計業務 R5可也小外壁改修工事				進捗状況・現状	【可也小】棟番号21 175㎡ H5.9 ・雨漏、モルタル浮き、クラックあり ・H25-R2まで塗装・補修工事 5件 【進捗】 ・R3: 東風小学校外壁改修工事実施設計業務 ・R4: 東風小学校外壁改修工事 ・R4: 可也小学校外壁改修工事実施設計業務		
事業期間	令和3年度～令和5年度				会計種類	一般会計		
総事業費	38,166	千円	(うち市予算化分) 38,166	千円	予算科目	款	項	目
変更前の実施計画に計上した総事業費	38,166	千円	38,166	千円		10	2	3

【担当課による評価】

◆活動指標

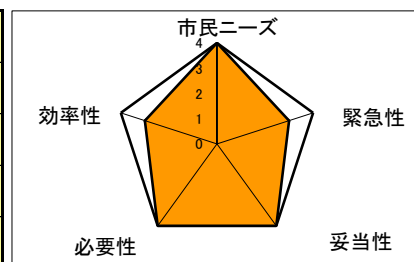
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
校舎外壁工事発注(校)	1校	2校	2校

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
安心して子供を生み育てられる環境が整っていると思う市民の割合(市民満足度調査)【再掲】	41.0%	43.0%	45.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

小学校校舎外壁改修事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【2,564】			【2,564】	
	県支出金					
	地方債	【5,100】			【5,100】	
	その他	【29】			【29】	
	一般財源 (a)					
事業費 (A)		【7,693】			【7,693】	
主な事業費内訳		工事費				
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700
人件費 (B)		1,740			人件費割合 (%)	100.0
総コスト (A+B)		1,740			総コスト計	1,740

実 地 方 債 担	交付税措置額				-
	一般財源充当額 (b)				
	(a+b)				

財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等		補助率等 (地方債は交付税措置率)
国庫支出金	【学校施設環境改善交付金(補助)】	【学校施設環境改善交付金(防災機能強化)】		【1/3】
県支出金				
地方債	【学校教育施設等整備事業債(単独)】 【学校教育施設等整備事業債(補助)】 【防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債】	【地方債同意等基準運用要綱】 【地方債同意等基準運用要綱】 【地方債同意等基準運用要綱】	(【充当率75%】) (【充当率90%】) (【充当率100%】)	【50%】 【70%・50%】 【50%】
その他	【ふるさと応援基金繰入金】	【糸島市ふるさと応援寄附条例】		

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】 可也小学校 外壁改修工事 (6,993,000*1.1)=7,692,300(繰越明許費R4→R5)	千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	<p>施設の安全確保は設置者に課せられた責務であり、教育活動に支障が出ないよう対応しなければならぬ。</p> <p>可也小学校は築後27年、文部科学省の示す予防保全年限を7年超過しており、近年、毎年のように雨漏り・クラック補修を行っているが、現状の部分補修では対応ができない。また、モルタル剥落事故につながるため、児童の安全確保に務める必要がある。</p>
-----------------	--

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト		施策コード
6	快適で住みよいまちづくり			612
政策		その他の特色		コストの方向性
1	都市機能の充実	市長公約		コスト削減
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画
2	快適な公園の整備	ハード	継続	○
				骨格・肉付け

【事業の内容】

事業名	<b>運動公園整備事業</b>			担当部課	建設都市部 地域振興部	都市施設課 生涯学習課						
事業目的	運動機能、交流機能、防災機能を備えた運動公園を整備し、都市機能の充実及び生涯学習機会の充実を図ることで、多くの市民の満足度を向上させる。また、防災拠点となる多目的体育館、広場、災害備蓄庫などの施設整備を行うことで、市民の生命、財産を守る体制を強化する。			事業主体	糸島市							
事業内容	≪導入機能・規模≫ ・場所:蔵持686番地11ほか(元雷山運動広場及びその周辺) ・面積:約58,000㎡ ・施設:多目的体育館(約7,900㎡)、憩いの広場、屋外運動施設等 ・機能:運動機能、交流機能、防災機能 ≪整備手法・事業者選定方式≫ ・整備手法:設計、施工、運営管理を一括発注する「DBO方式」 ・選定方式:総合評価一般競争入札(提案型)			実施方法	直営							
事業期間	平成30年度～令和5年度			進捗状況・現状	・H30年度:実施方針の決定、地質調査・測量、不動産鑑定 ・R1年度:用地取得、要求水準書の決定、入札・落札者の決定 ・R2年度:契約、設計業務(事前調査含む) ・R3年度:設計・建設・工事監理業務 ・R4年度:建設・工事監理業務 ・R5年度:建設・工事監理業務・開園準備業務 ※公共施設等総合管理計画上の総事業費:4,906,038千円							
総事業費	5,189,136	千円	(うち市予算化分) 5,189,136	千円	会計種類	一般会計						
変更前の実施計画に計上した総事業費	5,189,136	千円	5,189,136	千円	予算科目	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>	款	項	目	2	1	7
款	項	目										
2	1	7										

【担当課による評価】

◆活動指標

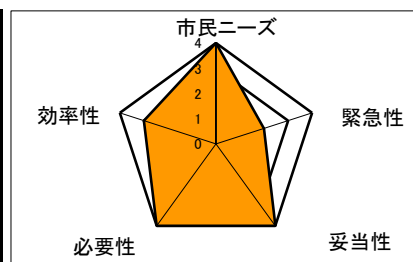
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
運動公園整備事業の進捗率	94%	100%	100%

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
市民1人当たりの公園面積	5.19㎡	5.66㎡	5.80㎡
公園が快適で利用しやすく整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	22.1%	26.0%	32.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②数年のうちに行わなければ、問題が起こる可能性がある。
市民ニーズ	④非常に高い





【事業費】

運動公園整備事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【34,930】 3,000			【34,930】 3,000	
	県支出金					
	地方債	【34,900】 177,800			【34,900】 177,800	
	その他	【30】 150,130			【30】 150,130	
	一般財源 (a)					
事業費 (A)		【69,860】 330,930			【69,860】 330,930	
主な事業費内訳		工事監理業務費 建設工事費 開園準備業務費				
従事職員数(人)		3			平均人件費	8,700
人件費 (B)		26,100			人件費割合 (%)	7.3
総コスト (A+B)		357,030			総コスト計	357,030
実質地方負担	交付税措置額	88,900			-	
	一般財源充当額 (b)	88,900			88,900	
	(a+b)	239,030			239,030	
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	【社会資本整備総合交付金】 社会資本整備総合交付金	【社会資本整備総合交付金交付要綱】 社会資本整備総合交付金交付要綱			【50%】 50%	
県支出金						
地方債	【公共事業等債(補正予算債)】 合併推進債	【地方債同意等基準運用要綱】 合併特例事業推進要綱		(【充当率100%】) (充当率90%)	【50%】 50%	
その他	【公共施設等総合管理推進基金】 公共施設等総合管理推進基金	【糸島市公共施設等総合管理推進基金条例】 糸島市公共施設等総合管理推進基金条例				

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■都市施設課予算:職員旅費(県協議等、1,160円*2人*10回≒24千円)、消耗品費(事務用品:ドッチファイル等、20千円)、印刷製本費(市民説明用資料、4.0円*5枚*50人*1.1≒2千円)、工事監理業務費(220千円)、建設工事費[備品設置含](325,714千円) ■生涯学習課予算:開園準備業務費(4,950千円)</li> <li>【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】</li> <li>■都市施設課予算:建設工事費69,860千円(繰越明許費R4→R5)</li> </ul>	330,930 千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	<p>本事業の実施により、スポーツを楽しむ人はもちろん、スポーツをしない人も、子どもも、高齢者も、障がいがある人も、幅広く、より多くの市民に利用される施設を整備することで、多くの市民の願いをかなえることができる。</p> <p>また、本事業は本市で初めてのDBO方式(設計、施工、維持管理運営業務を一括発注する契約方式)による事業で、PFI法に基づくものであり、費用の縮減効果や、民間ノウハウの活用などが期待できる先進事業である。</p> <p>以上の理由から、多額の費用がかかるものの、それ以上の効果が期待できると考える。</p>
-----------------	--

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				631
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備	市長公約			コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
1	都市の骨格となる道路ネットワークの整備	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	<b>浦志有田線整備事業</b>				担当部課	建設都市部	建設課		
事業目的	当該道路は、国道202号線今宿道路、一般県道雷山前原線及び糸島高校前駅南口を結ぶ重要な幹線道路であるため、道路改良及び歩道整備をすることで利用者の利便性及び安全性の向上を図る。				事業主体	糸島市			
					実施方法	直営			
事業内容	道路改良事業 ・延長L=690m ・幅員W=10.0m ・用地買収面積A=2,495㎡ ・H27年度:道路予備設計 H30年度:道路詳細設計 R元～R2年度:用地買収、物件補償 R2～R5年度:道路改良工事				進捗状況・現状	舗装面が悪く、またアップダウンも多いため通行性が悪い状態である。また、歩道がないため歩行者や自転車の安全性が確保できていない。H30年度詳細設計を行い、R1とR2年度で用地補償を実施し、工事はR2から着手する予定である。			
事業期間	平成27年度～令和5年度				会計種類	一般会計			
総事業費	311,458	千円	(うち市予算化分)	311,458	千円	予算科目	款	項	目
	311,458	千円	311,458	千円	8		2	3	
変更前の実施計画に計上した総事業費	311,458	千円	311,458	千円					

【担当課による評価】

◆活動指標

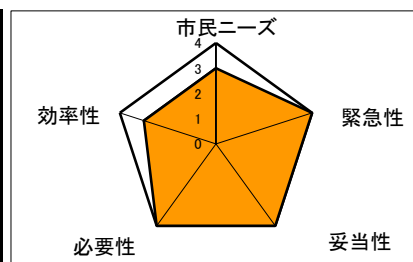
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
道路拡幅及び歩道設置(m)	0m	690m	690m

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
都市計画道路整備率	71.3%	73.0%	73.0%
車で市内をスムーズに移動できると思う市民の割合(市民満足度調査)	32.2%	37.4%	40.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	④市民生活に支障が出ており、すぐに行うべき。
市民ニーズ	③やや高い





【事業費】

浦志有田線整備事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【3,350】 49,183			【3,350】 49,183	
	県支出金					
	地方債	【3,300】 43,900			【3,300】 43,900	
	その他					
	一般財源 (a)	【550】 6,483			【550】 6,483	
事業費 (A)		【7,200】 99,566			【7,200】 99,566	
主な事業費内訳		工事費				
従事職員数(人)		0.3			平均人件費	8,700
人件費 (B)		2,610			人件費割合 (%)	2.6
総コスト (A+B)		102,176			総コスト計	102,176
実質地方負担	交付税措置額	10,478				-
	一般財源充当額 (b)	36,722				36,722
	(a+b)	43,205				43,205
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	【社会資本整備総合交付金】 社会資本整備総合交付金	【社会資本整備総合交付金交付要綱】 社会資本整備総合交付金交付要綱			【50%】 50%	
県支出金						
地方債	【公共事業等債(補正予算債)】 公共事業等債	【地方債同意等基準運用要綱】 地方債同意等基準運用要綱		(【充当率100%】) (充当率90%)	【50%】 22.2%	
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	工事費98,366千円 事務費200千円 【R4年度国の補正予算(第2号)による前例し分】 工事費7,200千円(繰越明許費R4→R5)	99,566 千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	国道202号バイパスや一般県道雷山前原線、糸島高校前駅南口を結ぶ重要な幹線道路である。将来は運動公園へのアクセス道路として車両・通行者・自動車の交通量が増加する路線であるため、重要な道路改良事業である。
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				632
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備	市長公約			コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
2	道路などの安全対策とバリアフリー化	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	<b>加布里停車場線歩道設置事業</b>				担当部課	建設都市部	建設課	
事業目的	当該箇所は、加布里小学校の通学路や加布里駅への通勤経路であるが、車両の交通量が多い中、歩道が整備されていないため、歩行者の利便性及び安全性を図る。				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	歩道設置 ・延長L=250m(補助費200m+単独費50m) ・幅員W=3.5m ・用地買収面積A=566㎡(補助費416㎡+単独費150㎡)				進捗状況・現状	この路線は、街路事業での道路改良事業として進めていたが、国道取付部の変更が生じ、認可の変更や高額な用地買収が発生するため、事業が中断している状況の中、地元より通学路や通勤経路としての整備が強く要望されている。		
事業期間	令和元年度～令和5年度				会計種類	一般会計		
総事業費	281,211	千円	(うち市予算化分) 281,211	千円	予算科目	款	項	目
	281,211	千円	281,211	千円		8	2	4
変更前の実施計画に計上した総事業費	281,211	千円	281,211	千円				

【担当課による評価】

◆活動指標

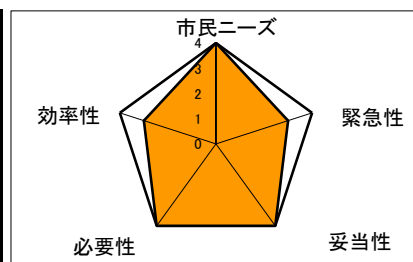
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
歩道設置延長	0m	250m	250m

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
交通安全施設がじゅうぶんに整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	26.3%	33.0%	35.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

加布里停車場線歩道設置事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【24,750】			【24,750】	
	県支出金					
	地方債	【20,200】			【20,200】	
	その他					
	一般財源 (a)	【1,050】 200			【1,050】 200	
事業費 (A)		【46,000】 200			【46,000】 200	
主な事業費内訳		事務費				
従事職員数(人)		0.3			平均人件費	8,700
人件費 (B)		2,610			人件費割合 (%)	92.9
総コスト (A+B)		2,810			総コスト計	2,810

実 地 方 債 担	交付税措置額				-
	一般財源充当額 (b)				
	(a+b)				

財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等	補助率等 (地方債は交付税措置率)
国庫支出金	【社会資本整備総合交付金】	【社会資本整備総合交付金交付要綱】	【50%】
県支出金			
地方債	【公共事業等債(補正予算債)】	【地方債同意等基準運用要綱】 (【充当率100%】)	【50%】
その他			

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	事務費200千円 【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】 工事費46,000千円(繰越明許費R4→R5)	200千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	都市計画道路としての位置づけがある中、部分的に歩道がなく、通学路や通勤経路としての安全性が確保されていないため、早急に歩道設置の対策が必要である。
-----------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				632
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備	市長公約			コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
2	道路などの安全対策とバリアフリー化	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	<b>雷山線整備事業</b>				担当部課	建設都市部	建設課		
事業目的	運動公園予定地前の歩道が狭く、通学路の安全性が確保されていないため、運動公園予定地側に道路用地を広げ歩道を整備する。				事業主体	糸島市			
					実施方法	直営			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>測量設計</li> <li>道路改良工事 L=330m W=9.0m</li> <li>道路用地は運動公園予定地側を確保できる。</li> </ul>				進捗状況・現状	雷山小学校の通学路となっているが、歩道が狭く危険な状況である。			
事業期間	令和2年度～令和5年度				会計種類	一般会計			
総事業費	87,066	千円	(うち市予算化分)	87,066	千円	予算科目	款	項	目
	8	2	3						
変更前の実施計画に計上した総事業費	87,066	千円	87,066	千円					

【担当課による評価】

◆活動指標

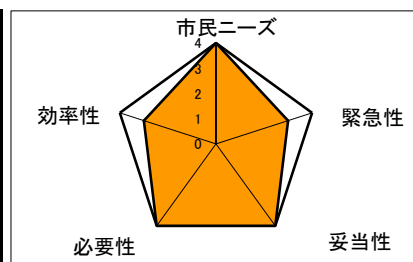
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
道路拡幅及び歩道設置(m)	0m	330m	330m

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
交通安全施設がじゅうぶんに整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	26.3%	33.0%	35.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

雷山線整備事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【17,600】			【17,600】	
	県支出金					
	地方債	【14,400】			【14,400】	
	その他					
	一般財源 (a)	【1,000】 200			【1,000】 200	
事業費 (A)		【33,000】 200			【33,000】 200	
主な事業費内訳		事務費				
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700
人件費 (B)		1,740			人件費割合 (%)	89.7
総コスト (A+B)		1,940			総コスト計	1,940

実 地 方 債 担	交付税措置額				-	
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					

財源の種類	特定財源の名称 (用途が定められた財源)	根拠法令等		補助率等 (地方債は交付税措置率)
国庫支出金	【社会資本整備総合交付金】	【社会資本整備総合交付金交付要綱】		【50%】
県支出金				
地方債	【公共事業等債(補正予算債)】	【地方債同意等基準運用要綱】	(【充当率100%】)	【50%】
その他				

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	事務費200千円 【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】 工事費33,000千円(繰越明許費R4→R5)	200千円
令和6年度		千円
令和7年度		千円

担当部長による 総合評価	この箇所は、小学校の通学路でもあるため生徒の安全性の確保が望まれる。
-----------------	------------------------------------

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				632
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備	市長公約			コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
2	道路などの安全対策とバリアフリー化	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	自転車通行空間整備事業（社交金分）				担当部課	建設都市部	建設課	
事業目的	自転車ネットワーク路線を整備し、啓発・交通安全教育の場として、学校や駅など市民が多く集まるエリアに路面標示することにより、歩行者及び自転車利用者の安全確保を行い交通事故防止を図る。				事業主体	糸島市		
事業内容	自転車通行空間の路面標示 L=100,000m				実施方法	直営		
事業期間	令和2年度～令和11年度				進捗状況・現状	令和元年度に糸島市自転車利用基本計画を策定し、令和2年度より整備を開始している。		
総事業費	500,738	千円	(うち市予算化分) 500,738	千円	会計種類	一般会計		
変更前の実施計画に計上した総事業費	500,738	千円	500,738	千円	予算科目	8	2	4

【担当課による評価】

◆活動指標

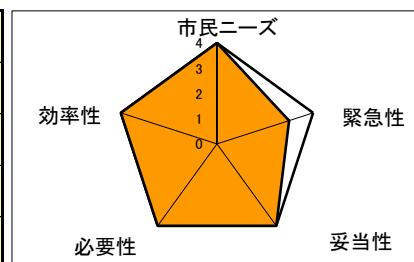
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
自転車通行空間の整備延長(m)	17,600m	10,000m	100,000m

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
交通安全施設がじゅうぶんに整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	26.3%	33.0%	35.0%
自転車通行空間の整備	0km	39km	60km

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	④わずかな費用で、大きな効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い



【事業費】

自転車通行空間整備事業(社交金分)

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【33,000】	33,000	33,000	【33,000】	66,000
	県支出金					
	地方債	【22,500】	20,200	20,200	【22,500】	40,400
	その他					
	一般財源 (a)	【5,500】 600	8,400	8,400	【5,500】	17,400
事業費 (A)		【61,000】 600	61,600	61,600	【61,000】	123,800
主な事業費内訳		報酬、費用弁償、事務費	工事費	工事費		
従事職員数(人)		1	1	1	平均人件費	8,700
人件費 (B)		8,700	8,700	8,700	人件費割合 (%)	17.4
総コスト (A+B)		9,300	70,300	70,300	総コスト計	149,900
実質地方負担	交付税措置額		4,484	4,484		-
	一般財源充当額 (b)		15,716	15,716		31,432
	(a+b)		24,116	24,116		48,232
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	【社会資本整備総合交付金】 社会資本整備総合交付金	【社会資本整備総合交付金交付要綱】 社会資本整備総合交付金交付要綱			【50%】 50%	
県支出金						
地方債	【公共事業等債(補正予算債)】 公共事業等債	【地方債同意等基準運用要綱】 地方債同意等基準運用要綱			(【充当率100%】) (充当率90%) 【50%】 22.2%	
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	会計年度任用職員報酬、費用弁償(測量補助)4カ月 500千円 事務費 100千円 【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】 自転車通行空間の路面標示 L=10,000m 10,000千円(繰越明許費R4→R5) 自転車通行空間整備工事 L=2,000m 50,000千円(繰越明許費R4→R5) 単独費継足し分 1,000千円(繰越明許費R4→R5)	600千円
令和6年度	自転車通行空間の路面標示 L=10,000m 10,000千円 自転車通行空間整備工事 L=2,000m 50,000千円 会計年度任用職員報酬、費用弁償(測量補助)4カ月 500千円 事務費 100千円 単独費継足し分 1,000千円	61,600千円
令和7年度	自転車通行空間の路面標示 L=10,000m 10,000千円 自転車通行空間整備工事 L=2,000m 50,000千円 会計年度任用職員報酬、費用弁償(測量補助)4カ月 500千円 事務費 100千円 単独費継足し分 1,000千円	61,600千円

担当部長による総合評価	自転車通行空間の整備は、市民の安全確保や事故防止のために必要な事業である。また、自転車利用者にルール、マナーを教育、啓発するために早急な対応が必要である。
-------------	---

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				633
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備				コスト維持
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
3	道路・橋の長寿命化	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	<b>橋梁長寿命化修繕事業</b>				担当部課	建設都市部	建設課	
事業目的	糸島市公共施設等総合計画の個別施設計画に計上されており、老朽化する橋梁を計画的に点検、修繕、架替を実施し、統廃合も併せて検討を行い、維持管理費長の削減及び道路網の安全かつ信頼性を確保する。				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交付金による橋梁長寿命化事業は5年に1度の点検を実施し、ホームページに結果を公表する。</li> <li>・点検結果を基に修繕、架替、通行規制、統廃合を検討する。</li> <li>・点検業務は、市内751橋を5年間で近接目視点検を実施し、判定を行う。</li> <li>・「Ⅲ」判定となった橋梁は5年以内に修繕を実施する。</li> </ul>				進捗状況・現状	平成26年度から修繕計画が完了し、平成30年度修繕計画の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕事業：14橋が完了（令和3年線）</li> <li>・平成29年度：久保田橋架替完了</li> <li>・令和3年度：幸田橋架替完了</li> </ul>		
事業期間	平成31年度～令和12年度				会計種類	一般会計		
総事業費	1,883,800	千円	(うち市予算化分) 1,883,800	千円	予算科目	款	項	目
変更前の実施計画に計上した総事業費	1,883,800	千円	1,883,800	千円		8	2	5

【担当課による評価】

◆活動指標

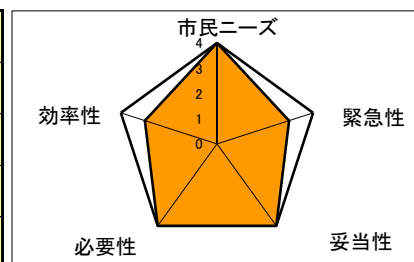
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
橋梁施設の安全性及び利便性	修繕14橋 架替2橋	修繕3橋 架替0橋	修繕18橋 架替2橋

◆長期総合計画基本計画の施策に関する目標達成指標 ※本事業やその他関連事業の実施により達成される数値

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
舗装個別施設計画に示す路線の舗装補修率	0%	22.4%	34.5%
維持管理コスト軽減のために補修を行う橋の補修率	20.0%	73.0%	100.0%

◆事業の必要性など

事業の必要性	④非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	④行政にしかできない事業である。
事業の効率性 (費用対効果)	③費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	③今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	④非常に高い





【事業費】

橋梁長寿命化修繕事業

※上段 ( ):市の予算を通らない事業費 【】:繰越費 斜体:ランニングコスト

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	【106,865】 15,125	40,700	69,795	【106,865】 125,620	
	県支出金					
	地方債	【87,400】	21,400	39,600	【87,400】 61,000	
	その他					
	一般財源 (a)	【2,035】 14,075	15,100	20,705	【2,035】 49,880	
事業費 (A)		【196,300】 29,200	77,200	130,100	【196,300】 236,500	
主な事業費内訳		委託費 (点検・計画) 工事費 (修繕)	委託費 (設計・点検) 工事費 (修繕)	委託費 (設計・点検) 工事費 (修繕)		
従事職員数(人)		0.5	0.5	0.5	平均人件費	8,700
人件費 (B)		4,350	4,350	4,350	人件費割合 (%)	5.2
総コスト (A+B)		33,550	81,550	134,450	総コスト計	249,550
実地方負担	交付税措置額		4,750	8,791	-	
	一般財源充当額 (b)		16,650	30,809	47,459	
	(a+b)		31,750	51,514	83,264	
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	【社会資本整備総合交付金】 社会資本整備総合交付金	【社会資本整備総合交付金交付要綱】 社会資本整備総合交付金交付要綱			【50%】 50%	
県支出金						
地方債	【公共事業等債(補正予算債)】 公共事業等債	【地方債同意等基準運用要綱】 地方債同意等基準運用要綱		(【充当率100%】) (充当率90%)	【50%】 22.2%	
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和5年度	橋梁点検委託 13,500千円 個別施設計画委託 15,500千円 事務費 200千円 【R4年度国の補正予算(第2号)による前倒し分】 橋梁設計委託 85,300千円(繰越明許費R4→R5) 橋梁補修工事 111,000千円(繰越明許費R4→R5)	29,200 千円
令和6年度	橋梁点検委託 22,000千円 橋梁設計委託 17,100千円 橋梁補修工事 37,900千円 事務費 200千円	77,200 千円
令和7年度	橋梁点検委託 30,000千円 橋梁設計委託 26,000千円 橋梁補修工事 73,900千円 事務費 200千円	130,100 千円

担当部長による 総合評価	コンクリート構造物の橋梁維持管理費の低減や橋梁の安全性のために必要な事業である。また、定期的に点検、調査、補修を繰り返さなければ、住民の生活に支障をきたす重要な事業である。
-----------------	--



# Ⅱ

## 実施計画 事業一覧表（変更分）

令和5年度～令和7年度 糸島市実施計画(3月変更) 事業一覧表

※特色の説明 ■市長公約：公約実現化プラン掲載事業 ■総合戦略：まち・ひと・しごと創生糸島市総合戦略掲載事業 ■公共：公共施設等総合管理計画第1期アクションプラン掲載事業  
 ※事業費の説明 斜体はランニングコスト、( )は市の会計を通さない財源、【 】は繰越費

ページ	事業名	課名	特色	増減	令和5年度					令和6年度					令和7年度						
					財源内訳				事業費合計	財源内訳				事業費合計	財源内訳				事業費合計		
					国庫支出	県支出	地方債	その他		一般財源	国庫支出	県支出	地方債		その他	一般財源	国庫支出	県支出		地方債	その他
<b>基本目標1.未来社会で輝く子どもを育むまちづくり</b>																					
<b>政策1.子育て・親育ちの支援の充実</b>																					
<b>施策1.安心して生み育てられる環境の充実</b>																					
3	子どもの安心・安全対策支援事業	子ども課	市長公約	変更前	0					0										0	
			総合戦略	増減	1,400					1,400											0
				変更後	1,400					1,400											0
新規	ソフト	子どもの安心・安全を確保し、安心して生み育てられる環境の充実を図る。																			
<b>政策2.保育・学校教育の充実</b>																					
<b>施策4.安全・安心に学習できる教育環境の整備</b>																					
5	雷山小学校屋内運動場大規模改造事業	教育総務課	市長公約	変更前	2,529		141,200	47,194		190,923										0	
				増減	▲2,529		▲5,300	▲66		▲8,048											0
			公共	変更後	▲2,682		▲5,300	▲66		▲8,048											0
継続	ハード	小学校教育環境整備として老朽化した屋内運動場の大規模改造工事により、事故を防止し、児童・教職員・利用者の安全を確保し、良好な学びの環境を提供するとともに、災害時における指定避難所としての防災機能の強化を図る。																			
7	小中学校トイレ改修事業	教育総務課	市長公約	変更前	16,548		24,500	29,124		70,172	67,669		122,900	77,847	268,416	77,451		170,900	78,877	327,228	
				増減	▲17,774		▲35,000	▲1,650		▲54,424	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
			公共	変更後	▲17,774		▲35,000	▲1,650		▲54,424	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
継続	ハード	老朽化した和式トイレを洋式トイレへ改修を行うことで、学校教育環境の充実、衛生環境の改善を図り、良好な学びの環境を提供する。																			
9	波多江小学校校舎大規模改造事業	教育総務課	市長公約	変更前	32,246		57,400	9,261		98,907										0	
				増減	▲32,246		▲63,800	▲2,861		▲98,907										0	
			公共	変更後	▲32,246		▲63,800	▲2,861		▲98,907										0	
継続	ハード	小学校教育環境整備として、老朽化した校舎の大規模改造工事により、事故を防止し、児童・教職員の安全を確保、良好な学びの環境を提供する。																			
11	小学校校舎外壁改修事業	教育総務課		変更前	2,589		4,600	504		7,693										0	
				増減	▲2,564		▲5,100	▲29		▲7,693										0	
				変更後	▲2,564		▲5,100	▲29		▲7,693										0	
継続	ハード	小学校教育環境整備(既存校舎の外壁改修)、教育施設の防災機能強化、建物の非構造部材(建物外壁)の耐震化																			
<b>基本目標6.快適で住みよいまちづくり</b>																					
<b>政策1.都市機能の充実</b>																					
<b>施策1.良好な住環境の創出と都市的土地利用の促進</b>																					
13	運動公園整備事業	都市生涯学習課	市長公約	変更前	11,000		205,100	170,289		386,389										0	
				増減	▲34,930		▲34,900	▲30		▲69,860										0	
			公共	変更後	▲34,930		▲34,900	▲30		▲69,860										0	
継続	ハード	運動機能、交流機能、防災機能を備えた運動公園を整備し、都市機能の充実及び生涯学習機会の充実を図ることで、多くの市民の満足度を向上させる。また、防災拠点となる多目的体育館、広場、災害備蓄庫などの施設整備を行うことで、市民の生命、財産を守る体制を強化する。																			

令和5年度～令和7年度 糸島市実施計画(3月変更) 事業一覧表

※特色の説明 ■市長公約：公約実現化プラン掲載事業 ■総合戦略：まち・ひと・しごと創生糸島市総合戦略掲載事業 ■公共：公共施設等総合管理計画第1期アクションプラン掲載事業  
 ※事業費の説明 斜体はランニングコスト、( )は市の会計を通さない財源、【 】は繰越費

ページ	事業名	課名	特色	増減	令和5年度					令和6年度					令和7年度							
					財源内訳				事業費 合計	財源内訳				事業費 合計	財源内訳				事業費 合計			
					国庫支出	県支出	地方債	その他		一般財源	国庫支出	県支出	地方債		その他	一般財源	国庫支出	県支出		地方債	その他	一般財源
<b>政策3.防犯・交通安全の推進</b>																						
<b>施策1.地域の防犯力の向上</b>																						
15	浦志有田線整備事業	建設課	市長公約	変更前	52,533		47,200		7,033	106,766						0				0		
				増減	【3,350】 ▲ 3,350		【3,300】 ▲ 3,300		【550】 ▲ 550	【7,200】 ▲ 7,200							0				0	
			公共	変更後	【3,350】 49,183		【3,300】 43,900		【550】 6,483	【7,200】 99,566							0				0	
継続	ハード	当該道路は、国道202号線今宿道路、一般県道雷山前原線及び糸島高校前駅南口を結ぶ重要な幹線道路であるため、道路改良及び歩道整備をすることで利用者の利便性及び安全性の向上を図る。																				
<b>施策2.道路などの安全対策とバリアフリー化</b>																						
17	加布里停車場線歩道設置事業	建設課	市長公約	変更前	24,750		18,200		3,250	46,200						0				0		
				増減	【24,750】 ▲ 24,750		【20,200】 ▲ 18,200		【1,050】 ▲ 3,050	【46,000】 ▲ 46,000							0				0	
			公共	変更後	【24,750】 0		【20,200】 0		【1,050】 200	【46,000】 200							0				0	
継続	ハード	当該箇所は、加布里小学校の通学路や加布里駅への通勤経路であるが、車両の交通量が多い中、歩道が整備されていないため、歩行者の利便性及び安全性を図る。																				
19	雷山線整備事業	建設課	市長公約	変更前	17,600		12,900		2,700	33,200						0				0		
				増減	【17,600】 ▲ 17,600		【14,400】 ▲ 12,900		【1,000】 ▲ 2,500	【33,000】 ▲ 33,000							0				0	
			公共	変更後	【17,600】 0		【14,400】 0		【1,000】 200	【33,000】 200							0				0	
継続	ハード	運動公園予定地前の歩道が狭く、通学路の安全性が確保されていないため、運動公園予定地側に道路用地を広く歩道を整備する。																				
21	自転車通行空間整備事業(社交金分)	建設課	市長公約	変更前	33,000		20,200	1,130	7,270	61,600	33,000		20,200		8,400	61,600	33,000		20,200	8,400	61,600	
				増減	【33,000】 ▲ 33,000		【22,500】 ▲ 20,200	▲ 1,130	【5,500】 ▲ 6,670	【61,000】 ▲ 61,000	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			公共	変更後	【33,000】 0		【22,500】 0	0	【5,500】 600	【61,000】 600	33,000		20,200		8,400	61,600	33,000		20,200	8,400	61,600	
継続	ハード	自転車ネットワーク路線を整備し、啓発・交通安全教育の場として、学校や駅など市民が多く集まるエリアに路面標示することにより、歩行者及び自転車利用者の安全確保を行い交通事故防止を図る。																				
<b>施策3.道路・橋の長寿命化</b>																						
23	橋梁長寿命化修繕事業	建設課		変更前	121,990		78,600		24,910	225,500	40,700		21,400		15,100	77,200	69,795		39,600	20,705	130,100	
				増減	【106,865】 ▲ 106,865		【87,400】 ▲ 78,600		【2,035】 ▲ 10,835	【196,300】 ▲ 196,300	0		0		0	0	0	0	0	0	0	
			公共	変更後	【106,865】 15,125		【87,400】 0		【2,035】 14,075	【196,300】 29,200	40,700		21,400		15,100	77,200	69,795		39,600	20,705	130,100	
継続	ハード	糸島市公共施設等総合計画の個別施設計画に計上されており、老朽化する橋梁を計画的に点検、修繕、架替を実施し、統廃合も併せて検討を行い、維持管理費長の削減及び道路網の安全かつ信頼性を確保する。																				
一般会計 合計				変更前	314,785	0	609,900	257,502	45,163	1,227,350	141,369	0	164,500	0	101,347	407,216	180,246	0	230,700	0	107,982	518,928
				増減	▲ 246,077	0	▲ 251,100	▲ 45,849	▲ 23,605	▲ 566,631	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				変更後	68,708	0	358,800	211,653	21,558	660,719	141,369	0	164,500	0	101,347	407,216	180,246	0	230,700	0	107,982	518,928